



2021年1月21日

各位

会社名 株式会社高松コンストラクショングループ
代表者名 代表取締役社長 吉武 宣彦
(コード番号 1762 東証第一部)
問合せ先 常務執行役員グループ統括本部長 島林 正弘
(TEL 03-3455-8108)

普通社債(第1回債)及びサステナビリティ・リンク・グリーンボンド(第2回債)の 発行に関するお知らせ

当社は、1月20日に開催した取締役会において、公募形式による当社初の起債となる普通社債(第1回債)及びサステナビリティ・リンク・ボンドとグリーンボンドを組み合わせた、国内初となるサステナビリティ・リンク・グリーンボンド(第2回債)(*1)(*2)の発行を決定しましたので、お知らせいたします。

本サステナビリティ・リンク・グリーンボンドは、SDGsが掲げる17のゴールに対応した売上高(SDGs貢献売上高)を目標値に定め、調達資金を全額グリーンプロジェクト(環境性能に優れた新「TCGビル」(当社グループの東京拠点ビル)の建築)に充当する国内初のSDGs債となります。

サステナビリティ・リンク・グリーンボンドの概要は下記の通りです。また、同時に公募形式による普通社債(10年債)の起債も予定しております。

I. サステナビリティ・リンク・グリーンボンドについて

1. サステナビリティ・リンク・グリーンボンド発行の目的・背景

当社グループは、「建設を通じて社会における相互補完の一翼を担う。」を経営理念として掲げており、社会に有用で安全な建物や安心のサービスを責任をもって提供し、お客様やビジネスパートナー、従業員に対してのみならず、国や地域、自然や地球環境に対してもよりよい関係を構築し、社会的な責任を全うする必要があると考えます。

現在、当社グループでは、2022年3月期を最終年度とする中期経営計画「Create! 2022」に取り組んでおります。本中期経営計画は5つの「創る」を柱に策定しており、5つ目の柱である「経済・社会や環境への価値創造」では、SDGsに向けた取り組みが当社グループの長期的な成長のために不可欠であると位置づけ、特色のあるグループ各社がそれぞれの事業分野で高い専門性を発揮しながら、持続的に企業価値を向上させていくため、「環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)」に対して、積極的に対応しているところです。

高松コンストラクショングループの5つの「創る」

- ①高成長、高収益企業を創る
- ②グループの新事業領域を創る
- ③多様性尊重、コンプライアンス重視の企業文化の創出
- ④シナジー効果の創出
- ⑤経済・社会や環境への価値創造

このような中、今般、環境に関する当社グループの取り組みを多くの方々にご認識していただくべく、発行条件をサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(*3)(以下、SPTs)の達成状況に連動させるサステナビリティ・リンク・グリーンボンドを国内で初めて発行することといたしました。

サステナビリティ・リンク・グリーンボンドは、資金使途が限定されないサステナビリティ・リンク・ボンドとは異なり、調達する資金を全額グリーンプロジェクトに充当するグリーンボンドの特徴を組み合わせた債券であります。なお、発行条件と連動する SPTs は、「グループ会社全体の SDGs 貢献売上高が将来(2022/3期以降)4か年度累計で 3,911 億円以上」と設定しております。

(*1) サステナビリティ・リンク・ボンド (SLB)

SLB とは、あらかじめ定められたサステナビリティ/ESG の目標を達成するかどうかによって条件が変化する債券のことを指す。したがって、調達資金が必ずしも特定の資金使途に限定される必要はない。SLB は、発行体があらかじめ定めた重要な評価指標 (KPI) と SPTs によって評価される。KPI に関して達成すべき目標数値として SPT が設定され、KPI が SPT を達成したかどうかによって、債券の条件が変化することで、発行体に SPTs 達成に向けた動機付けを与える債券。

(*2) グリーンボンド

国際資本市場協会 (ICMA) が定めるグリーンボンド原則及び環境省グリーンボンドガイドライン 2020 年版に適合しており、環境問題の解決に資する事業＝「グリーンプロジェクト」に使途を限定して資金を調達するために発行する債券。

(*3) サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット

サステナビリティ・リンク・ボンドの発行条件を決定する発行体の経営戦略に基づく目標。

2. サステナビリティ・リンク・グリーンボンドの概要

発行年限	5 年 (予定)
発行時期	2021 年 3 月 (予定)
発行額	100 億円 (予定)
資金使途	(仮称)TCG ビル新築工事の建築資金 (予定)
発行条件と連動する SPTs	グループ会社全体の SDGs 貢献売上高が将来(2022/3期以降)4か年度累計で 3,911 億円以上
プレミアム	SPTsが未達の場合は社債の金額 100 円につき 0.5 円のプレミアムを支払う。
主幹事	大和証券株式会社(事務)、みずほ証券株式会社
Sustainability-Linked Bond Structuring Agent (*4) / Green Bond Structuring Agent (*5)	大和証券株式会社

(*4) Sustainability-Linked Bond Structuring Agent

サステナビリティ・リンク・ボンド・フレームワークの策定及びセカンドパーティオピニオンの取得に関する助言などを通じて、サステナビリティ・リンク・ボンドの発行支援を行う者。

(*5) Green Bond Structuring Agent

グリーンボンド・フレームワークの策定及びセカンドパーティオピニオンの取得に関する助言などを通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者。

3. SPTsの定義について

今回、サステナビリティ・リンク・グリーンボンドを発行するにあたり、SPTsとして、以下のとおりSDGs貢献売上高の目標値を設定いたしました。

1) SPTs

SDGs 貢献売上高が、将来4か年度(2022/3期～2025/3期)累計で3,911億円(*6)以上となることを目標にします。

(*6)目標値3,911億円について

過去3か年度(2018/3期～2020/3期)のSDGs 貢献売上高の年度平均は927億円でした。

この過去実績の平均を年率1.52%ずつ成長させ、2025/3期のSDGs 貢献売上高を1,000億円に到達させるべく、各年度の目標値を設定しました。年度ごとの実績は凹凸があることを考慮し、SPTsは将来4か年度累計としました。

2) SDGs 貢献売上高は以下の各定義による当社グループの以下の数値を単純合算したものの。

(1). 環境保全への貢献



① 再生可能エネルギー関連施設の建設出来高

- ・ 太陽光・風力・地熱・中小水力・バイオマス発電施設の建設による出来高
- ・ 太陽光発電設備の設置工事による出来高

② 自然共生素材・工法を用いた法面工事出来高

- ・ 生物多様性や地域景観に配慮した自然回復緑化のための技術を用いた緑化工法による法面工事の出来高

③ 省エネルギー規格に適合した建築物の出来高

- ・ CASBEE (建築環境総合性能評価システム) (*7)、ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) (*8)等の当社が指定する一定の環境規格に適合した建築物の出来高

(*7)CASBEE

建築環境総合性能評価システムを指し、建築物の環境性能で評価し格付けする手法です。省エネや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮はもとより、室内の快適性や景観(*8)への配慮なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステムです。

(*8)ZEB

Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。「ZEB」規格に加え、「Nearly ZEB」、「ZEB Ready」、「ZEB Oriented」規格に適合する建築物も算入します。

(2). 住み続けられるまちづくりへの貢献



① 安心・長寿命空間の提供となる建設の出来高

- ・ 耐震性能が建築基準法の 15%増し以上の建築物の出来高
- ・ 耐震補強工事の出来高
- ・ 長期優良住宅の販売高（但し、注文住宅の場合は、出来高とする）

② 安全・快適・高品質の維持となる工事の出来高

- ・ マンション等の大規模リフォーム工事の出来高

③ 伝統建築文化の継承につながる建築及び埋蔵文化財の保護につながる工事の出来高

- ・ 社寺建築及び埋蔵文化財発掘事業の出来高

④ 高齢者向け住サービスに係る売上高

- ・ サービス付き高齢者住宅の運営にかかる売上高

- (3). 当社グループにおける新規事業の開始及び技術開発並びに合併その他の買収に関連して当社グループが取得する、上記(1)及び(2)に類するその他の技術にかかる出来高、販売高又は売上高

4. サステナビリティ・リンク・ボンドとしての適合性について

当社はサステナビリティ・リンク・グリーンボンドの発行のために、株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）により、環境省の「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2020 年版」及び国際資本市場協会（以下、ICMA）の「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2020 年版」への適合性等についての確認を受けております。

5. グリーンボンドとしての適合性について

また、グリーンボンドの適合性評価については、環境省の「グリーンボンドガイドライン 2020 年版」及び ICMA の「グリーンボンド原則 2018 年版」に適合している旨、JCR より「JCR グリーンボンド評価」の最上位評価である「Green1」の予備評価を取得しております。

評価については、本日 JCR より公表されたニュースリリースをご参照ください。

URL: <https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

6. (仮称)TCG ビルの概要

所在地	東京都港区芝 4 丁目 8 番 2 号
敷地面積	1,529.49 m ²
延床面積	16,493.48 m ² (4,989 坪)
階数	地上 18 階、地下 1 階
構造	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造
着工	2020 年 9 月
竣工	2023 年 2 月予定
施工	青木あすなろ・高松特定建設工事共同企業体
主な環境認証等	CASBEE A ランクを取得済(2020 年 12 月 21 日付け)

■ 新「TCGビル」イメージ図



【ご参考】

当社 ESG ウェブサイト <https://www.takamatsu-cg.co.jp/about/esg/>

II. 普通社債について

発行年限	10年(予定)
発行時期	2021年3月(予定)
発行額	50億円(予定)
資金使途	借入金返済及び運転資金として

以上